

学校教育目標「向学 自主 協働」

校訓「夢を実現」

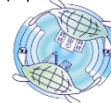
スローガン「一生懸命はかっこいい」



川通中だより



令和8年5月7日 第2号
さいたま市立川通中学校
TEL 048(799)1061
川中キリッパター ホームページ



80周年記念スローガン

「80周年の軌跡、夢を未来へつなぐ川通」

「朝のあいさつから思うこと」

校長 八坂 和典

若葉の緑がまぶしく感じられる季節となりました。新緑の頃にそよそよと吹く、清々しい風のことを「薫風（くんぷう）」と呼びます。南風が草木を通り抜け、心まで晴れやかにしてくれる様子を表しています。入学式・始業式から約1カ月が経ちました。1年生は、慣れない中学校生活でさぞかし緊張して、授業も静まり返っているのだろうと予想していたのですが、どのクラスも活気がある印象。物忘れせず新しい先生とコミュニケーションをとり、活発に発言している様子に頼もしさを感じました。2年生は、昨年度1年間の成長の表れか、2クラスとも落ち着いた姿で、授業や諸活動に積極的に取り組んでいます。先輩としての自覚や風格も、少しずつ感じられるようになってきました。3年生は、最高学年としての自覚を持ち、朝の登校状況も授業態度も大変立派な滑り出し。学校行事や部活動も1、2年生のお手本となる姿を随所に見せてくれています。この姿勢や緊張感が卒業するまで続くことを期待しています。4組は、2名の先生方とクラスメイトとで、和やかな雰囲気の中、楽しそうに授業や諸活動に取り組む姿が見られます。おかげ様で川通中学校は順調なスタートを切ることができました。

さて、朝の登校時に正門前に立っていると川通中学校の生徒はよくあいさつをしてくれます。私が声をかける前に「おはようございます」と先にあいさつをしてくれる生徒がたくさんいます。大きな声であいさつをしてくれると元気をもらえた気持ちになります。横に立っていてもこちらに顔を向けてあいさつをする生徒や目を見てあいさつをする生徒がいるとうれしくなります。相手に気づき、感じ、そして爽やかなあいさつをすることで、自分や相手の心を豊かにします。今後も気持ちの良いあいさつを通して、希望溢れる学校を作っていきましょう。

私の好きな宮澤章二さんの詩をひとつ紹介します。

「行為の意味」 宮澤章二

あなたの〈ころ〉はどんな形ですか と ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈ころ〉は見えないけれど ほんとうに見えないのであろうか
確かに〈ころ〉はだれにも見えない けれど〈ころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の〈思い〉は見えないけれど 〈思いやり〉はだれにでも見える
それも 人に対する積極的な行為だから
あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき
〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ。

この詩は 2011年 3月 11日に起きた東北地方太平洋沖地震の後に AC ジャパンという公益社団法人が作った映像に流されたことでも有名になりました。すべての人が持っている優しい気持ちが、たくさんのあたたかい行為となって世の中に生まれてほしいという思いで作られたものでした。私たちには残念ながら、他人の心を見ることはできません。でも、その行動で、その人の「心」や「思い」を知ることができます。生徒の皆さんはこれから1年間苦楽をともにする仲間や先生と出会いました。新しい環境の中でも「私はあなたを大切にしています」という優しい思いを生徒の皆さんの自分らしい具体的な行動で示してほしいと思っています。それこそが作者のいう「心が美しく生き」、「人が人として生きること」になるのだと思います。

あいさつを自ら行うことは、自分の心を開き、相手の存在を認める行為です。それは、その人の心の「優しさ」を表す、ひとつの大切な姿だと思います。今後も、心のこもった爽やかなあいさつが学校中に響きわたることを期待しています。

地域の皆様、保護者の皆様におかれましても、地域やご家庭であいさつを気持ちよく交わしていただきながら、温かく優しいあいさつのできる子どもたちを、これからもともに育てていきましょう。